



# JPI催しのご案内

2018  
4

公益社団法人日本包装技術協会

## — 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加申し込みができます。  
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

### ●開催要領

- 会場** 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
- 日時** 平成30年4月20日(金) [第1部] 13:15~15:00 [第2部] 15:15~17:00
- 参加費** JPI法人・個人会員：無料 / 一般：3,240円(1部会、税込)
- 定員** 100名(先着順にてお受付致します。)

### 第1部 第222回生活者包装研究会

13:15~15:00

#### 【テーマ】食品の異物混入苦情の現状と対応策について ~食品事業者喫緊の課題を考えてみる~

保健所や流通などへ消費者から寄せられる食品への苦情の内、質量ともに多いのが異物混入に関するものであり、こうした状況は十数年来変わっていない。本講演では、防虫防鼠対策や衛生管理の基本ともいえる「5S管理」の実践について、現状の問題点を紹介しながら喫緊の課題として具体的な改善策を提起していく。  
併せて、昨今増加しているビニル片(フィルム)の混入防止ツールとしてパウチオープナーを紹介。より有効に活用するため広範なご意見・ご批判を仰ぎたい。

- 【講師】** (公社)日本食品衛生協会 公益事業部 食品衛生推進課 技術参与 佐藤 邦裕 氏  
株式会社 鍛造 代表取締役 渡辺 英世 氏
- 【コーディネーター】** 凸版印刷株式会社 総合研究所 事業開発研究所 課長 包装管理士 山田 孝志 氏  
サントリーMONOZUKURIエキスパート株式会社 SCM本部 包材部 専任課長 宮井 清氏

### 第2部 第222回包装資材研究会

15:15~17:00

#### 【テーマ】素材としての紙の特徴とその可能性

「紙」は身近な素材であるが、多種多様で他の素材にない特徴を有している。講演の前半では素材としての紙の特徴を、原材料や製造方法の面から解説する。  
後半では、「サステナビリティ」や「サーキュラーエコノミー」への対応といった社会課題に対して、循環型資源である「紙」がどのように貢献できるか述べたい。日本製紙が「紙でできることは紙で」の理念に基づいて取り組んでいるパッケージ開発の事例について、紙にバリア性を付与した素材「SHIELDPLUS(シールドプラス)」を軸に紹介する。

- 【講師】** 日本製紙株式会社 パッケージング・コミュニケーションセンター/技術調査役 野田 貴治 氏  
日本製紙株式会社 パッケージング・コミュニケーションセンター/技術調査役 内村 元一 氏
- 【コーディネーター】** サッポロビール株式会社 商品・技術イノベーション部 シニアマネージャー 包装専士 柳川 宏児 氏  
株式会社 メリーチョコレートカンパニー 生産技術統括部 包装開発部 部長 包装専士 阿曾 政志 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

## 4月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、当会ホームページからのお申し込み、もしくは、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXにてお受け付け致します。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒 )	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

～平成30年度月例研究会アンケートご回答のお礼 並びに図書券の当選結果について～

過日会員各位に配布し実施致しました「平成30年度月例研究会アンケート」におかれましては、多くのご回答を頂き誠に有難うございました。  
事務局では頂いた貴重なご意見を月例研究会の運営に反映して参ります。なお、抽選の結果下記5名の方々に図書券を贈呈致します。

当 選 者

(株)日進社 家田様 / アイロップ(株) 野本様 / ヤマトマテリアル(株) 中嶋様 /  
(株)ニイタカ 生田様 / 三井化学東セロ(株) 山下様

また、平成30年度の年間スケジュールが決定致しましたので下記にてご報告致します。何卒ご予約頂ければ幸いです。

平成30年度JPI月例研究会年間開催スケジュール(関東開催)

開催日	テーマ(仮)	開催日	テーマ(仮)
4月20日	素材としての紙の特徴とその可能性	10月25日	輸出包装(木枠の代替梱包(材料))について
	食品の異物混入苦情の現状と対応策について ～食品事業者喫緊の課題を考えてみる～		EU指令の最新動向(夏以降)
5月24日	消費者行動変化における売り場づくり	11月29日	MA包装の取り組みと最新事例
	エンジンの集合包装改善について		ロングライフ用液体容器について
6月28日	JIS アクセシブルデザイン開封性の制定	12月13日	3Dデジタルツールを使った 容器デザインについて
	物流の側面から見た包装におけるUD		グローバルロジスティクスの現状 (仕向け先の治安・インフラ・環境など)
7月19日	通販対応型段ボールについて (可変段ボール箱、仕切りのシステム等)	平成31年 1月24日	ロングセラー商品について (変遷・苦労話・長く販売する秘訣)
	紙製容器包装の3R対応事例について		最近の段ボール包装について
8月23日	JIS Z 0150改正について	2月21日	PET樹脂の基礎について(グレード、触媒など)
	省人化について (連続生産工場、協働ロボット、AGV等)		射出成型の基礎と技術動向(油圧、電動など)
9月20日	デジタル印刷専用検査機について	3月20日	最新ロボットシステムについて
	インキの基礎について(加飾)		通販商品から見る生活にフィットした 商品について
注) 開催日とテーマは変更する場合がございます。 毎月発行するパンフレットにてご確認ください。			

◆お申込み及びお問い合わせ先◆

(公社)日本包装技術協会 月例研究会係 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:satou@jpi.or.jp

4月

第24回包装新人研修コース

～包装にこれから携わる人の入門講座～

開催日:平成30年4月12日(木)・13日(金)  
2日間合宿制  
会場:セミナーハウス「クロス・ウェーブ船橋」  
千葉県船橋市本町2-9-3  
定員:30名 \*定員になり次第締切  
受講料:会員1名/92,880円 一般1名/97,200円  
会員3名以上同時申込割り 1名/72,360円  
【申込方法】  
当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)もしくは、専用パンフレット  
にてお申込み下さい。

5月

第51回包装基礎コース

～包装の全分野における体系的短期間入門及び実践講座～

開催日:平成30年5月9日(水)・10日(木)・11日(金)・  
17日(木)・18日(金)5日間  
会場:(公社)日本包装技術協会 会議室  
中央区築地4-1-1 東劇ビル10階  
定員:70名 \*定員になり次第締切  
受講料:会員1名/62,640円 一般1名/76,680円  
【申込方法】  
当会HP(<http://www.jpi.or.jp>)もしくは、専用パンフレット  
にてお申込み下さい。

◆お申込み及びお問い合わせ先◆

(公社)日本包装技術協会 包装新人研修コース・包装基礎コース 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

- 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させて頂きます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
- 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970  
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>